

＜白金標準、7600 円を固める修正の時間帯・・・＞



(出所：オアシス)

広州先物取引所でプラチナとパラジウムの先物取引が開始され 10 日間が過ぎ、世界プラチナ投資協議会 (WPIC) のアジア太平洋地域責任者は PGM の先物市場の開始の意義は、中国において水素燃料電池や水素製造用電解装置などの新エネルギー技術における重要性を理由に、プラチナを戦略的価値のある重要鉱物と見なしており「中国の国家戦略的優先事項」と述べている。その意味合いからも今後のプラチナ需要における中国の役割は増大し、大きなインパクトになると思える。またアニバーサリーでも年末 12 月から年明け 3 月までは PGM 価格は高値を追う値動きを見せており、2026 年に向けて下値切り上げの値動きが強まる可能性も秘めている。

また南アフリカでは、プラチナ鉱山との賃金交渉で大きな影響を与える鉱山・建設労働組合 (AMCU) の委員長に現在のジョセフ・マトウンジャ氏が今後 5 年間の指揮を執る事で再任している。プラチナ鉱山会社は 2027 年 6 月で 5 年契約が終わり、新たな賃金契約を結ぶことから供給不足要因に更なる賃金交渉が重なる事など、今後の割安感が漂うプラチナ価格の見直し相場が、更に続くと思われる。

＜テクニカル＞

白金標準先物の週足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、シグナルも切り上げている。RCI では**短期**が上昇し、**長期**は切り上げている。特に週足が指数平滑移動平均線のレンジを上回っており、強気維持の動きに思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,740,000 円(2025 年 12 月 8 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 105,600 円(2025 年 12 月 8 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>